

<お知らせの履歴>

2025 年 5 月 1 日

全国で 5 月に凧揚げが行われます。

相模原市新戸であげる 8 間四方（128 畳）の大凧は日本一大きな凧です。

座間市大凧まつりは、100 人の引手で大凧を揚げるのが特徴です。

泉区では伝統文化である「相模凧」を揚げる凧揚げ会が開催されます。

相模凧は端午の節句に子どもたちの健やかな成長と五穀豊穡を祈願して揚げられる泉区の伝統文化で 400 年の歴史があると伝えられています。

竹の骨組みに和紙を貼った正方形の凧で「ビーン」という

独特のうなりをあげるのが特徴です。

大空に舞う大凧を、是非、お楽しみください。



凧揚げイベント

2025 年 4 月 25 日

今年も桜の季節がほぼ終わりました。あっという間に桜の花は散ってしまうため、美しいと言いますがやはり名残惜しいです。

しかし、桜のあとにりんごの花が見られます。

りんごの花は、桜の花と違った可愛さ、可憐さがあります。

りんごの産地ではりんごで花見をしています。

桜は葉っぱが出る前にピンクの花がまとまって咲くのに対し、

りんごの花は、新緑の葉っぱとともに蕾のピンク・花びらの白で枝を彩ります。

品種によって花の色や大きさ、咲き始めるタイミング、咲く数も違うので楽しいものです。

<桜とリンゴの花の違い>

花の形は似てますが色や香り、そして一番目立った大きな違いは咲き方です。葉と花がどちらが先に出るかの違いです。

桜：花→葉 リンゴ：葉→花

桜は満開まで花のみですから全体が桜色に包まれ後に葉桜になります。

リンゴは若葉が先に出てから白い花が咲くので満開時では白色と緑色の混合となります。



リンゴの花

2025 年 4 月 17 日

関東では葉桜となっていますが、東北で次々と桜が開花しています。

青森では 4 月 17 日に開花発表され 4 月下旬に満開の予報です。

今年は開花が早くなっています。

北海道でも平年よりも 1 週間前後早い開花予想となっています。

全国で最も開花の遅い釧路では 5 月 7 日に開花を迎え、桜前線はゴールへと向かいます。

北陸や長野県、東北南部は今が見頃のピークで今週末にかけては各地でお花見を楽しめそうです。



五稜郭タワーからの景色

2025 年 3 月 24 日

24 日(月)、東京で桜の開花宣言がありました。

これから桜の開花が進み、桜の花見のシーズンもすぐそこまで近づいています。

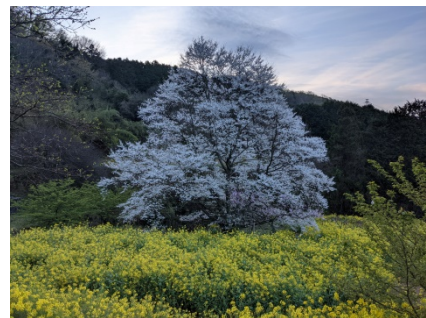
桜の開花時期は、品種によって異なります。

「桜の開花期はカンザクラ類に代表される早春に咲くものがあったり、晩春に咲くものがあったりと、案外長期にわたっています。

これから「咲き始め」「もうすぐ満開(七分咲き)」「満開」

「桜吹雪」と、いろんな桜の様子を楽しむことができます。

皆さんはどのタイミングがお好みですか？



秦野市蓑毛の薄墨桜

2025 年 3 月 8 日

2025 年のスギ花粉の飛散は過去最多で関東地方は昨年の約 2 倍との報告です。2 年前も多く飛散しましたが、それよりも多く、今まで軽症の方は重症化の恐れがあります。

昨夏の「高温・多照・少雨」により、スギの花粉がかなり大量にできている様です。スギ花粉は、3 月上旬には広い範囲でピークを迎え、ピークの期間は 10 日間から 1 か月ほど続く見込みです。

また、ヒノキ花粉のピークは 3 月下旬から 4 月上旬で、期間は 5 日間から 2 週間ほど続くそうです。

強い風が吹く日や急に暖くなる日には、花粉の飛散が極めて多くなります。

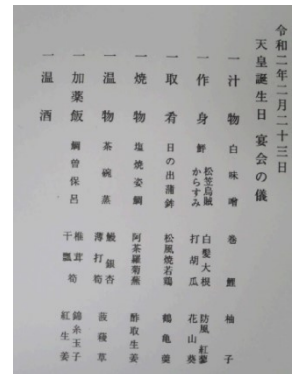
花粉情報や気象情報を確認して、万全な対策を心がけましょう。



流し雛とは、身のけがれを和紙でできた雛人形に託して水に流し、それを祓うという平安時代よりの習慣です。流し雛の式典として、お雛様は十二単、お内裏様は衣冠の平安装束を身にまとい流し雛の儀を執り行います。



昭和天皇の誕生日は4月29日でした。現在、この日は「昭和の日」として祝日に制定されています。



なかでも京都興福寺の吉山明兆作の涅槃図はその雄大さで知られています。



2025 年 2 月 9 日

建国記念日 2 月 11 日は、国家の基礎が確立したことを祝う日です。
日本では実際の建国日が明確ではないため建国神話を基に建国を祝う日として「建国記念の日」が定められました。



「建国をしのび、国を愛する心を養う日」として 1966（昭和 41）年に定められました。

2 月 11 日は初代天皇である『神武天皇』が即位された日です。

旧暦の 1 月 1 日は太陽暦に換算すると 2 月 11 日となります。

神武天皇とは、日本最古の歴史書である古事記や日本書紀に出てくる人物であり、

古事記は神様や日本という国がどのように産まれたか等が記述されています。

建国記念の日のらしさを感じる過ごし方をしてみてはいかがでしょうか

橿原(かしはら)神宮で行われる例祭「紀元祭」が 2 月 11 日（火・祝）に天皇陛下の御名代である勅使参向のもと斎行されます。

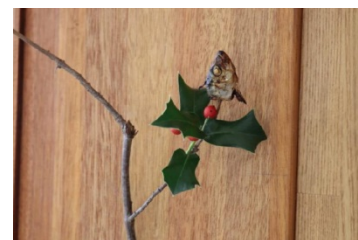
なぜ橿原神宮に勅使が派遣されるのかというと、日本の初代天皇である神武天皇が即位したのが橿原の地にあった大和橿原宮とされているためです。まさに日本という国ができた場所です。

2025 年 2 月 4 日

2 月 8 日の『事八日』は、物忌み（さまざまな日常行為を控える行為）

の日と考えられ、この日は仕事を休む風習が各地で行われていました。

この日、針仕事を休み、折れた針などを豆腐などに刺して供養する針供養が行われるのもその一つです。



人々が仕事を休んで家に籠るのには理由があります。

それは事八日には「妖怪」が家にやってくるからなのです！

事八日の晩に「一つ目小僧」がやってくるとされています。

事八日になると人々は長い竿を用意し、その先に網カゴを吊るしました。

一つ目小僧は、たくさんの網の目に驚いて、その家に近づかなくなるそうです。

網カゴの他にも、戸口に櫛を立てかけたりすることで妖怪が寄り付かなくなるそうです。

ヒイラギやイワシの頭を吊るして追い払う例もあります。

いわしの頭を焼くときのけむい匂いと、ひいらぎのトゲが鬼から守ってくれるという風習です。

軒先に吊るして無病息災を願いましょう。

2025 年 1 月 31 日

天王森泉公園では、毎年節分祭が開催され、災厄や邪気を祓い、福を呼び込む

「豆まき行事」が行われます。今年の節分祭は 2025 年 2 月 2 日(日)に開催。

天王森泉公園は和泉川沿いに広がる水田、それを縁どる斜面緑地が昔懐かしい農村の面影を今に伝える泉区の南部。

台地の崖線から湧く豊富な湧水をいかして、流域には 20 に上る製糸場が営まれた歴史を持ちます。

一角に雑木林を主体とした面積約 35,000 m²の本公園があります。

正面には製糸場の本館が再生され、涸れることのない湧水が自慢です。

天王森泉館（旧清水製糸場本館）・湧水の森・見晴らしの丘・くわくわ森の 4 つのエリアに分かれています。



2025 年 1 月 18 日

1 月 25 日は鎌倉行事が盛り沢山です。

幕府の鬼門(北東)を鎮護する神として頼朝により、祀られた鎌倉荏柄天神社の「初天神」の縁日です。学問の神様として尊敬されている菅原道真に因んで始まった「筆供養」も執り行われます。

書家や歌人などをはじめとする参拝者が持ち寄った愛用の筆や鉛筆を焚きあげて供養することにより書道や字の上達を願います。

常楽寺(大船)でも 25 日に秘仏の木造文殊(もんじゅ)菩薩坐像が開帳され、文殊菩薩の供養をする祭り「文殊祭」が行われます。

この日以外は開かれない秘仏である文殊菩薩像は右手に如意という道具、左手に経巻を持った鎌倉時代の作ですが頭部は開山大覚禅師が宋より伝えたものだといわれています。



2024 年 12 月 2 日

横浜・山下公園にて 2024 年 12 月 5 日(木)から 2025 年 3 月 2 日(日)の期間

「Winter Wonder Park Yokohama2024」が開催されます。

異国情緒あふれる山下公園の風景と共に、光と音楽が融合した幻想的な空間に設置されるイベントです。家族や友人同士で 1 日中楽しめる多彩なアクティビティが満載です。

横浜の冬が光と音楽で輝くこの特別なイベントを楽しんでみてはいかがでしょうか。

横浜・みなとみらい各エリアをブルーを基調とした LED ライトの鮮やかな光で包み込みます。イルミネーションと多彩なイベントを楽しめるみなとみらいで思い出作りをしてみてもいかがでしょうか。



2024 年 11 月 20 日

横浜市南区真金町に鎮座する金刀比羅大鷲神社では 2024 年 11 月 29 日(金)の「三の酉」で令和六年例大祭「酉の市」を開催します。

縁起ものがたくさんついた縁起熊手が名物で新年の開運招福、商売繁盛を願うお祭りとして親しまれています。

「三の酉まである年は火事や災いが多い」という言い伝えがあり、三の酉の年限定の江戸火消しの纏(まとい)に見立てた「火除守り」が人気です。



2024 年 11 月 5 日

【Live! 横浜 2024 とは・・・】

横浜を「音楽のまち」としてブランディングしていくため、みなとみらい21地区を中心とした都心臨海部の音楽施設・民間イベントや音楽団体、横浜市などが一体となって創り上げる新しいスタイルのフェスティバルです。大規模イベントをはじめ、音楽、ダンス、アニメなど多彩なジャンルを取り込み、8つの街なかステージを中心に30か所を超えるステージを一斉展開します。大人も子どもも楽しめる、まち全体がライブで躍動する4日間をぜひ楽しんで見ませんか。

会期：11月9日（土）、10日（日）、16日（土）、17日（日）

会場：みなとみらい21地区を中心とした都心臨海部



2024 年 10 月 19 日

【江の島シーキャンドル湘南キャンドルライトアップ】

いよいよ秋らしくなりましたね！

今年も江の島で秋を感じられるイベント

「湘南 CANDLE」が始まりますよ。

江の島シーキャンドルを中心に、約 10,000 基のキャンドルが灯ります。そこには、あたたかな光に包まれた幻想的な世界が広がっていますよ。ぜひ暖かくして、この期間だけの江の島を楽しみに行ってみませんか？

期間：2024 年 10 月 20 日（日）～11 月 4 日（月）

会場：江の島サミュエル・コッキング苑



2024 年 9 月 21 日

「2024 ふじさわ江の島花火大会」

開催日：2024 年 10 月 19 日（土）

打上時間：午後 6 時～午後 6 時 30 分（30 分間）

場所：片瀬海岸西浜

打上発数：約 1800 発（最大号数 4 号玉）

ふじさわ江の島花火大会は、湘南のシンボル、江の島をバックに片瀬海岸西浜から打ち上げられる湘南の秋の風物詩です。

多彩な花火で構成され湘南海岸の夜空を美しく彩り、ロマンチックな秋の夜を演出します。



2024 年 9 月 17 日

「第 17 回小出川彼岸花まつり」

2024 年 9 月 21 日(土)、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町を流れる小出川沿いで「第 17 回小出川彼岸花まつり」が開催されます。9 月下旬から 10 月上旬にかけて、青少年広場（寒川町大蔵）、大黒橋（藤沢市遠藤）間の小出川沿いのコース（3 キロメートル）に、彼岸花が咲き誇ります。天気の良い日には、遠くに富士山や丹沢山系を眺めながら散策を楽しむことができます。

【花のみどころ】

小出川沿い 大黒橋～寒川町青少年広場の約 3k



2024 年 9 月 10 日

＜鶴岡八幡宮の例大祭＞

16 日の流鏝馬神事中止

15 日朝、流鏝馬練習中に 20 代男性が落馬し意識不明の重体となり鶴岡八幡宮の流鏝馬は中止となりました。

毎年 9 月 14 日から 16 日までの 3 日間にわたり執り行われます。献茶会、献華会、武道大会、日本舞踊などの神賑行事が続々と奉納され、多くの参拝者で賑わいます。



【9 月 15 日（日）】10 時 00 分～：例大祭

神社本庁より幣帛を奉る献幣使を迎え、宮司以下神職、巫女、八乙女が奉仕し、大勢の参列者を迎えて厳かに執り行われます。神前には鈴虫も供えられ、秋らしい虫の音が響きます。

【9 月 16 日（月祝）】13 時 00 分～：流鏝馬神事

境内の流鏝馬馬場にて、鎌倉時代さながらの狩装束に身を包んだ射手が、馬で駆け抜けながら 3 つの的を射抜く勇壮な神事で、源頼朝公の時代より約 800 年の伝統を受け継いでいます。

2024 年 8 月 15 日

横浜スパークリングトワイライト

ヨコハマのミナトを彩る 5 分間の花火の打ち上げ！

週末を中心に通年で花火と夜景を楽しめます。

横浜港を彩る花火をぜひ楽しんでみてはいかがでしょうか？

会場：横浜港（新港ふ頭、大さん橋他）

2024 年 8/31、9/14・21、10/12・26、11/2・9・16、12/7・24 横浜スパークリングトワイライト

開催時間：2024 年 8 月、9 月の開催 20:00～20:05。

2024 年 10 月～12 月の開催 19:00～19:05

打ち上げ数 約 150 発



2024 年 7 月 30 日

鶴岡八幡宮では、2024 年 8 月 6 日～9 日の 4 日間「ぼんぼり祭」が行われます。

鎌倉市内や鶴岡八幡宮にゆかりのある著名人が書いた書画約 400 点がぼんぼりに仕立てられ、参道に並びます。夕刻になると明かりが灯り、幻想的な光景が広がる魅力溢れるお祭りです。

ぼんぼり祭の期間中には、「夏越祭」「立秋祭」「実朝祭」の 3 つの神事が執り行われます。

【夏越祭】8 月 6 日 15 時～（立秋の前日）

夏の邪気を祓う神事が源氏池のほとりで行われた後、参道で「茅の輪くぐり」を行い、健康を祈願します。舞殿では巫女により「夏越の舞」が奉納されます。

【立秋祭】8 月 7 日 17 時～（立秋の日）

夏の無事を感謝し、実りの秋の訪れを奉告する昭和 25 年より始められたお祭りです。

ご神前には神域で育まれた鈴虫が供えられます。

【実朝祭】8 月 9 日 10 時～（場所：白旗神社）

源実朝公の誕生日に執り行うお祭りで、昭和 17 年より始められました。

実朝公の遺徳をしのぶとともに、文芸に優れた実朝公にちなみ、例年、短歌会が催されます。



<鶴岡八幡宮・夏越祭>

2024 年 7 月 27 日

「関東三大阿波踊り」の一つ「神奈川大和阿波おどり」が

7 月 27 日、28 日に開催されます。

地元連のほか、全国から多くの連が参加し、

鉦や太鼓の音が鳴り響く中、色鮮やかな衣装をまとった踊り手たちが熱い演舞を披露します。

28 日 16 時からの「総踊り」は 圧倒的な迫力で観客を魅了するものです。

観ても踊っても楽しめる大和の夏の風物詩です。



<令和 6 年大和阿波踊り>

2024 年 7 月 20 日

日本各地には独自の伝統と文化が息づく祭りが数多く存在します。

暑い夏は日本の祭りのエネルギーが爆発する季節。

7 月から日本各地で沢山の夏祭りが開催されます。

見るだけではもったいない!! 参加して地元の人々と

一緒に声を出して盛り上がるのは如何でしょうか。



<令和 5 年須賀神社例大祭>